学校番号	3017

令和８年度　工業科（産業創造系）

教科	工業	科目	（学）産業財産権	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	教員作成の教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

知的財産権のうち、産業財産権に係わる知識の学習をとおしてものづくりの分野における製品の保護に関する汎用的な考え方を身につけていきます。また、学習したことをもとに、発明品や意匠、商標の権利トラブルに関する判例を読み解きながら、一つひとつの事例に対してその対処法を論理的に考えられるようになることを目標とします。実際の製造業では、製品を製造することだけではなく、産業財産権を活用した効率的な開発や、ブランド化を効果的に展開しています。「つくる」だけではなく「まもる」の観点からものづくりに携わる力を養っていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
特許権、実用新案権、意匠権、商標権の産業財産権および、著作権の法律に関する基本的な知識を身につける。製品やデザインを他者から保護する方法や、開示される情報に基づいた製品開発やブランド化の手法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
発明品や意匠等の権利トラブルの判例をもとに、想定される事例に対して自らの法的な対処方法を説明できる力を養う。また、権利を取得しようとする際に考慮するポイントや課題点を整理し、解決方法を示すことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
製品の権利を守りブランド化を図るなど、産業財産権を活用したものづくりに携わろうとする考え方をもって、協働的に事例検討と課題解決を図ろうとする姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	知的財産権・産業財産権に関する基本的な知識が習得できている。 また、J-PlatPat を操作して、産業財産権情報の検索を行うことができる。	知的財産権・産業財産権に関連する法的制度や判例などをもとに、独自の視点で考えを整理することができる。	知的財産権・産業財産権に関する知識に興味を持ち、他者の権利侵害の有無を判断し、独自の視点で考えを整理しようとしている。学んだ知識を積極的に活用しようとする意欲や態度が見られる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	特許権	特許 ① 特許情報の調査 ② 特許出願について ③ 出願から特許取得までの流れ	a:特許制度について理解しているか。 b:法的制度をもとに、判例について自らの考えを論理的に述べることができるか。 c:J-PlatPat の操作方法を理解し、先行調査を行うことができるか。積極的に授業に取り組めているか。	ワーク 単元テスト	レポート ノート 提出物	学習状況の観察
	実用新案権	実用新案 ① 実用新案法の保護対象 ② 実用新案制度と特許制度の違い ③ 実用新案登録出願の流れ	a: 実用新案制度について理解しているか。 b: 法的制度をもとに、判例について自らの考えを論理的に述べることができるか。 c: 積極的に授業に取り組めているか。	ワーク 単元テスト	レポート ノート 提出物	学習状況の観察

2学期	意匠権	意匠 ① 意匠登録制度とデザイン ② 先行意匠調査と意匠情報 ③ 意匠出願制度	a: 意匠登録制度について理解しているか。 b: 法的制度をもとに、判例について自らの考えを論理的に述べることができるか。 c: J-PlatPat の操作方法を理解し、先行意匠調査を行うことができるか。積極的に授業に取り組めているか。	ワーク 単元テスト	レポート ノート 提出物	学習状況の観察
	商標権	商標 ① 商標登録制度 ② 企業経営における商標の効果･価値 ③ 商標調査	a: 商標登録制度について理解しているか。 b: 法的制度をもとに、判例について自らの考えを論理的に述べることができるか。 c: J-PlatPat の操作方法を理解し、商標調査を行うことができるか。積極的に授業に取り組めているか。	ワーク 単元テスト	レポート ノート 提出物	学習状況の観察
3学期	著作権	著作権 ① 著作物 ② 著作権 ③ 著作権と産業財産権の相違 ④ 権利の侵害	a:著作権について理解しているか。 b: 法的制度をもとに、判例について自らの考えを論理的に述べることができるか。 c: 積極的に授業に取り組めているか。	ワーク 単元テスト	レポート ノート 提出物	学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度